

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.23

発行: 松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手3-8-13
松本市役所大手事務所2階
TEL/FAX: 0263-88-2988
E-mail: support-center@support-center.jp
URL: http://www.support-center.jp

市民活動フェスタ2009 in 松本

市民パワーで地域を活性化

フォーラム
9月26日(土)

フェスティバル
9月27日(日)

NPO法が施行され10年がたちました。社会変革が叫ばれる中、公益の新たな担い手として注目されるNPOのこれまでを振り返るとともに、今後の展望を見つめ、活動のあり方、方向性などについて考えます。みんなで一緒に話し合いませんか? <参加無料>

会場 松本市あがたの森文化会館 講堂
時間 午後1時30分~4時 (受付:午後1時~)

<基調講演>

テーマ: 市民活動(NPO)のこれまで10年から、これから10年を見つめる
講師: 松原明さん(NPO法人シーズ・市民の活動を支える制度をつくる会常務理事・事務局長)



<フリーディスカッション>

テーマ: 市民活動(NPO)のこれまで&これから
司会: 久島和子さん(NPO法人ライフデザインセンター専務理事)
アドバイザー: 福島明美さん(松本大学地域づくり考房『ゆめ』地域づくりプランナー) / 伊藤博敏さん(NPO法人松本クラフト推進協会代表理事) / 永田千恵子さん(NPO法人森倶楽部21理事長)

<歓迎ライブ>

出演: 「楽団ケ・セラ」 & 「アンサンブルブーケ」



この「市民活動フォーラム」は、宝くじの助成金を活用し、自治総合センターと市が主催して開催します。

多くの市民活動団体が参加し、日頃の活動のようすや成果を発表します。また、今年はワークショップや楽しい交流イベント、障害者団体の販売コーナー、飲食コーナー、各種マーケットなどもありますので、お祭り気分でごなたも気軽にお立ち寄りください。

会場 松本市あがたの森文化会館 講堂・屋外
時間 午前10時~午後4時

<ブース展示>

市民活動団体やボランティア団体のパネル展示などによる活動紹介

<交流催事>

インターナショナル・カフェ ふれあい広場(福祉施設の展示販売と軽食喫茶コーナー) マイカップ+マイはしをご持参ください!

<ワークショップ>

「街のオアシス Mapづくり」「松本の街の案内人になろう」「CAP大人ワークショップ」「マイはし作り」など... 参加・体験型のイベントが盛り沢山!

<相談コーナー>

NPO設立やボランティア参加、融資の相談等

豚汁無料サービスあり!

入場無料!



市民活動フェスタ2008より

ご案内

託児 26日・27日の両日行います。25日までに下記へお申し込みください。
駐車場 両日とも「蚕糸公園」を用意してありますので、南口からお入りください。
申込・問合せ 松本市市民活動サポートセンター(・FAX: 0263-88-2988)まで

このコーナーでは、当センターに団体登録のある、さまざまな活動団体をご紹介します！！
今回、お話をうかがったのは、「**涸沢音楽祭実行委員会**」と「**新・信州人倶楽部**」の両団体です。

涸沢音楽祭実行委員会

連絡先 TEL : 090-9002-2543 FAX : 090-8683-2865
<http://www.karasawa-hyutte.co.jp/>

日本アルプス穂高連峰に囲まれた雄大な氷河圏谷、涸沢カール。標高2,300メートルにあるこの涸沢カールをステージとし、毎年8月に吹奏楽による演奏会「涸沢音楽祭」が開催される。

これを主催するのは、山小屋関係者と登山愛好家との協働により、平成8年に結成された実行委員会である。委員の呼びかけに20～30人のアマチュア演奏家が集まり、音楽祭は今年で14回目を迎えた。回を重ねるたびに多くの登山者に知られるようになり、このステージを見るために穂高岳を訪れる人々も増えている。

会の発足時には、いくつか問題点があった。演奏者たちに登山の経験がないこと、高所のため空気が薄く演奏するのが苦しいこと、気温が低いので楽器が結露してしまうことなどだ。当時は酸素マスクを用意し演奏の合間に使う人もいたという。しかしそれでも、山岳の清涼な大気の中で奏でる音が稜線の岩峰を越え、岳の青空に溶けていくこの別世界に魅せられたメンバーたちは毎年山へ向かう。



雪渓の涸沢カールでの演奏

昨年は悪天候のため、やむなく中止となった。今年は去年の無念を晴らすべく朝6時に上高地を出発、6時間かけて涸沢カールに到着し、演奏は午後2時から始まった。オープ

ニングに続き、NHK大河ドラマ「天地人」のテーマ曲や、岳にちなんだ曲「穂高よさらば」「岳人の歌」など、約50曲余りが2日間6ステージにわたり壮大に披露された。演奏者も観客も「ホールで行われる演奏会とは違う一体感を味わえる」と感動を話す。

現在、実行委員は21名。委員長の山口孝さんは「涸沢カールを音楽で包みたい」「多くの登山者の想いに応えたい」という熱い想いを原動力とし、「これがいづまでも続くよう後継者を育てていきたい」と語ってくれた。

新・信州人倶楽部

連絡先 TEL : 0263-50-6315 FAX : 0263-50-6512
<http://www.azumino.matsumoto.nagano.jp/countrylife/club>

代表の中澤滋さんにお話を伺った。

都会から長野県にターンした人達を中心に、互いに親睦をはかりながら信州に定着するため1997年に発足したグループである。倶楽部の名前「新・信州人」というのは、新しく信州に来た人の集まりという意味でつけたそうだ。

現在会員は50名、県外にも16名いる。長野県全域にまたがり、年代も子育て世代からシニア層までと幅広い。ホームページや会員の紹介を通じて輪が広がってきた。

この倶楽部の目的は、身寄りがなくても長野県に完全移住するという“人生の決断”をした人をサポートすることである。中澤さんの考える「完全移住」とは、都会に不動産を所持したままの滞在居住者や地域との関わりを持たない人ではなく、定年後も信州で仕事を持ち、積極的に地域活



バーベキューで親睦会

動に取り組むなど「今後の地域の力になろう」という気持ちのある人を指すと言う。

活動は、年4回の会報発行や総会、親睦会、ホームページを通じてのアドバイスなどだ。2004年には、書籍「信州でくらしませんか？」を出版した。都会暮らしと田舎暮らし、理想と現実とのズレに向き合う体験記が、信州の四季の写真とともに綴られている。また2006年からは「倶楽部 ターン相談会」を年に1度行っている。

ターンを考えている人は、気候に関することをはじめ「どこに住むのが良いか」「地域との関係は、どのようにすればよいか」などの疑問や不安がある。また、ターンした人は、今までとは違う環境や風土に身を置くことになり、経験や価値観の違いに戸惑うことも多くある。

中澤さんは、「メディアなどのいわゆる『いいところ取り情報』だけを発信するのではなく、経験者の目線で、客観的なアドバイスを行うことが大切。会員・非会員問わず本当のサポートをしていきたい。」と話していた。

精神保健ボランティア講座受講者募集

精神障害者に対する理解を深め、地域の中でサポートするボランティアを養成します。

対象 市内に在住または通勤、通学していて全日程参加できる方

定員 20名

日時 9月18日(金) 10月2日(金) 10月23日(金)

午後1時30分から

実習は別途実施します。

会場 市民活動サポートセンター

受講料 無料

申込・問合せ 松本市ボランティアセンター TEL 25-7311



夏休み体験講座 作文コンクール発表



施設利用者に指導を受け
ペーパーウエイト作り



マイ箸作りでエコを考える



親子で料理 自分で作ると
嫌いな物も食べられるかな？

今年の夏、当サポートセンターでは、初めて子ども対象の体験プログラムを行いました。将来を担う子どもたちが市民活動に参加し、思い出作りをするとともに社会参加へのきっかけ作りを目的としています。今年度は「福祉」「環境」「子育て」の3テーマについて登録団体との協働で開催しました。

松本市と当センターのHPや「広報まつもと」、また、小中学校で全家庭配布される「集まれ松本キッズ」にイベント情報を掲載し、延べ70人の方が参加しました。

参加した方の感想には「たくさんの人と話ができてよかった」(障害者施設体験)「今日話を聞いて、少しでも自分のできることをやろう!と思いました」(環境プログラム)「難しいところもあったけど楽しかった。友達を誘ってまたやりたい」「楽しさや思うようにできない事など、初めての体験をさせる良い機会になった」(子育てプログラム)等、大変好評でした。感想を寄せてくださった皆さん、ありがとうございました。

また、主催してくださった団体の方からも「新しい参加者が増えた。今後も企画したい」との声が上がっています。今後も子どもの長期休みを利用した開催を検討中です。企画のある方は当センターまでご連絡ください。

~作文コンクール 最優秀賞~

アルプちゃんへ

小2 浅田はな

今日、夏休み子ども体けんこうざに行って、ペーパーウエイトをつくりました。まずさいしょに石をえらびました。石をえらんだあとは、きっ手をえらんで石にきっ手をはりました。そのあいに1階でクロックムッシュをつくってくれていました。ペーパーウエイトはニスをぬってかわかしておきました。11時10分ごろにクロックムッシュを食べました。すごくおいしかったです。食べ終わったら、じこしょうかいとかんそうをいいました。ちょっとはさかしかったです。そのあとにペーパーウエイトが下りてきて、じぶんのペーパーウエイトを見つけて、さわってみたらすこしベタベタしていました。そのあと、きた人と「楽しかったね」などを話していました。すこしたってみんながかえりはじめたころ、わたしたちもかえろうとして、おみせを出たら、おみせの人が「バイバイまたね」と言ってくれました。また行きたいです。

お手紙ありがとう!また
お店に行ってみてね!



イベント情報をお寄せください！

センター通信やホームページにて、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんからの多くの情報をお待ちしています。



～映画『未来の食卓』～

食卓から始まった小さな奇跡が人々の幸せを紡いでいく、南フランス・バルジャック村の一年間を描き、オーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー映画です。21日の上映後は子どもが輝く食育ネットワーク松本・副代表の杉木悦子さんの講演があります。

日 時：9月21日(月) 10:00～ 13:30

22日(火) 16:00～

場 所：Mウィング6階ホール

参加費：前売り券 大人1,400円

当日券 大人1,800円 学生1,400円

問合せ：NPO法人 松本CINEMAセレクト

TEL:0263-98-4928

～吉田朝雄『成す』展～

数々の病と戦い続ける吉田朝雄「願う所に向かう」シリーズ第2弾！7日と19日にはトークイベントも行います。コーヒーやデザートなどもあります。ぜひお越しください。

日 時：9月7日(月)～25日(金) 11:30～16:00

場 所：カフェギャラリーてくてく

参加費：7日(月)500円(スイーツ&ドリンク付)

19日(土)300円(ケーキ&ドリンク付)

問合せ：TEL:0263-34-0611

E-mail: spnn2299@gamma.ocn.ne.jp

URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tekuteku/>

～映画『ゆずり葉』～

人情あふれる東京の下町を舞台に“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリーです！主演は庄崎隆志とSPEEDの今井絵理子です！

日 時：9月26日(土) 第一部 14:00～

第二部 19:00～

場 所：Mウィング6階ホール

会 費：当日券 一 般 1,500円

高中小学生 1,000円

前売り券 一 般 1,200円

高中小学生 800円

問合せ：「ゆずり葉」実行委員会

TEL:0263-36-1572

～企業&NPO 協働アイデアコンテスト～

4年前に始まったコンテストです。NPOが、自分達の活動や協働アイデアを企業の方々に直接披露できる機会です。優秀団体は助成金が贈呈されます。新しい協働アイデアをどんどん募集しています！

募 集 期 間：8月15日(土)～10月15日(木)

公開選考会：12月11日(金)15:00～

場 所：名古屋栄ビル

助 成 金：最優秀賞：1団体/20万円

優 秀 賞：1団体/10万円

特 別 賞：1団体/5万円

奨 励 賞：2団体/3万円

問 合 せ：NPO法人

パートナーショップ・サポートセンター

TEL:052-762-0401

URL:<http://www.psc.or.jp>



～平和と環境の講演会Part3～

『命がつながる社会をつくる処方箋～国際連帯税って何？～』をテーマに横浜市立大学准教授上村雄彦先生の講演会です。講演会の前には、雅音人(がねっと)さんによるミニコンサートがあります。雅音人さんは音楽を通して平和や環境のメッセージを伝えている二人です！

日 時：10月31日(土) 13:10開場

13:40ミニコンサート

14:00～16:00 講演会

場 所：市民活動サポートセンター

参加費：1,000円

定 員：70名

問合せ：信州八チドリねっと湧～く

TEL:0263-53-7231



編集後記

今年の夏は日差しの記憶がないまま過ぎてしまった感があります。この通信の取材をしていつも強く感じる事・・・それは活動団体の皆さまからダイレクトに響く「熱い想い」です。こうした「心」を大切に、つなげ、さらに伸ばしていただきたい・・・サポートセンターの役割をあらためて考えるこの頃です。
(い)